

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2013
平成25年

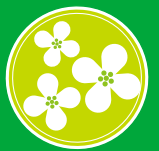
9.15

家族のために
できることから!



目次

「しみんの広場」	2
花壇設置奨励事業報告	
広報サポーターカメラリポート	
今月の渥美半島の花	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の1コマを紹介	
たはらしティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 花壇設置奨励事業報告「花の会(野田)」……………2ページ
- カメフリポート今月の渥美半島の花……………3ページ
- 地域の話(福江中学校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

投稿

笑顔と会話の花も咲く

花の会(野田)の皆さん

田原市には「花壇設置奨励事業」として、地域の子ども会や老人クラブ、有志の団体などが管理する花壇が133カ所あり、現在106団体が管理・運営を行っています。その中でも、昨年度の花壇コンクール(小規模花壇の部)で、最優秀賞を受賞した野田校区の『花の会』から活動報告がありました。



●花壇を手入れする会員の皆さん



花と笑顔でまちを元気に!

私たち『花の会(野田)』は、花の愛好者や、健康のために体を動かそうとする方が集まり、平成11年に「田原町花の会」の一員として活動をスタートしました。以来、今まで継続して活動を行い、今年で15年目を迎えました。

「花は会話と笑顔を生みます。花が育ち咲いていくにつれ、仲間同士、通りすがりの人、子どもたちの間で、笑顔と会話の花も咲きます」。そんな思いを持ちながら、いつも仲良く、楽しみながら活動しています。

こうした活動は、とにかく続けていくことが大事だと思います。「**笑顔と会話の花も咲く**」を会のモットーに、花と緑いっぱい潤いのあるまちを目指し、これからも頑張っていきます。

投稿

伊良湖校区&伊良湖小学校 手作りの津波避難看板設置

伊良湖校区では、8月21日(水)

に自主防災活動の一環として「津波避難看板」を校区内に設置しました。

この看板は、伊良湖小学校の児童39名が夏休みを利用して、海抜や独自で考えたイラスト、メッセージを入れて制作したもの。当日は、5・6年生とその保護者、校区役員を含む約30名が校区内を回り、39枚の看板を避難経路に沿って設置しました。

これからも、地域住民の生命・財産を守るため、校区として何ができるかなどを話し合いながら、さまざまな防災対策に取り組んでいきます。

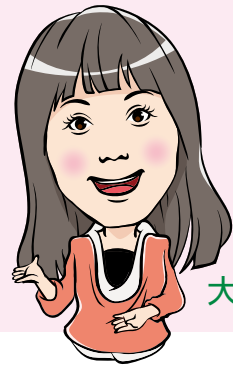


▲避難経路に津波避難看板を設置する小学生と校区役員

広報サポーター
カメラレポート

＊三河湾のマリンスポット
姫島漁港を訪ねて

皆さんこんにちは。広報サポーターの大久保です。田原市の魅力を発掘するため先日「姫島漁港」に行ってきました。今回は、その一部をご紹介します。



大久保

田原市でのマリンレジャーと言えば、真っ先に頭に浮かぶのがサーフィンですよね。サーフィンは、渥美半島の表浜海岸が有名ですが、三河湾を眺めることのできる内海、白谷地区の『**姫島漁港**』も観光スポットとして人気があります。姫島漁港にはヨットのほか、漁船やプレジャーボートなど、200隻以上が停泊されています。シーズンになると、三河湾を気持ちよさそうに風を切って走るヨットなどの姿が見られるそうですよ。

今回、わたしは知り合いのヨットに乗せてもらい、姫島をぐるり



と一周してきました。太陽の光が反射し、キラキラ輝く波を横目に港へ戻りながら、わたしの目に映った田原市の景色は美しい山の稜線でした。ぜひ皆さんも、一度足を運んでみてくださいね。



10月

今月の渥美半島の花～バラ～

バラ (切花／出荷時期：通年)

【花言葉】…美、愛情

美しさの象徴とも言えるバラは、イギリス国花、紋章として有名です。八重咲きのものが普通で、本来の花びらは5枚です。色は、赤・白・ピンク・オレンジ・淡紫色など豊富で、咲き方もロゼット咲きやカップ咲き、ポンポン咲きなどさまざまな種類があります。

花の大きさにより、ハイブリッドティー(大輪)、フロリバンダ(中輪房咲き)、ミニチュア(小輪)などの種類に分かれます。年間約1000万本が出荷されており、田原市は県内2位の生産量を誇っています。





▲地域防犯力の向上について協議(パネルディスカッションの様子)



▲近隣校区が初めて一同に会しての開催

地域の話題

福江中学校地域

地域の安全は、地域自らが守る

福江中学校地域の4校区協議会(亀山・中山・福江・清田)から、地域全体で考える防犯力の向上について、お便りが届きました。



6月28日(金)の夜、福江市民館で福江中学校地域(亀山・中山・福江・清田)の校区協議会役員をはじめ、学校、警察、防犯ボランティア団体など73名が集まり「防犯ボランティア養成講座」が開催されました。

地域で何ができるか

平成24年度末に亀山・中山・中山の駐在所が廃止され、福江幹部交番に統合されたことで、福江中学校地域では防犯体制に不安が広がっていました。

そこで、地域防犯力を向上させるきっかけとして、田原警察署生活安全課からの犯罪発生状況の報告や防犯に関する取り組み紹介の後、愛知大学鈴木誠教授を講師に招き、講

話およびパネルディスカッションによる意見交換を行いました。

地域の絆づくりが

地域防犯力を高める!

鈴木教授からは「地域における絆づくり(地域活動)こそ地域防犯力の向上の要。田原市の素晴らしい地域の組織体制(地域コミュニティ)



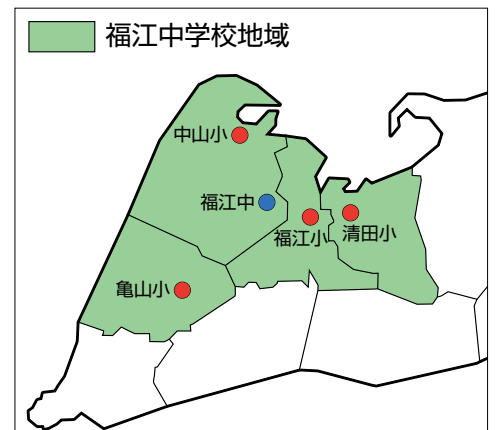
●鈴木教授から励ましの言葉をいただきました

を大切に、取り組みをさらに続けてほしい」とエールをいただきました。

講座の成果を生かして

パネルディスカッションでは、「防犯について一緒に活動する福江中学校地域単位での組織が必要ではないか」や「校区での防犯の取り組み(青少年健全育成、防犯パトロールなど)に防犯ボランティア団体が融合して一緒に活動していけると良い」など、前向きな意見が出されました。

亀山・中山・福江・清田の4校区では、今回の講座を機会として、『地域の安全は地域自らが守る』という意識のもと、防犯活動の組織化や地域課題の共有など地域全体が一体となった取り組みの必要性を再認識する機会となりました。





市民活動を応援するページ



イベント紹介

海鳴 UMINARI アートフェスティバル2013

～表浜ほうべの森キャンプ場プレオープンイベント～

●市制施行10周年記念事業(公募事業)

日時：10月12日(土) 11:30～21:00 / 13日(日) 11:30～19:00

場所：表浜ほうべの森公園 (田原市南神戸町南中島)

内容：◆ステージイベント(音楽、ダンス、太鼓など)

◆ライブペイント (プロアーティストによる実演)

◆フリーペイント (来場者に巨大な壁へ自由に描いていただきます)

◆ワークショップ (キャンドル作り体験、レーザークラフト、木工アート、染め物体験、ウクレレ演奏体験、ダンボール迷路、弓矢作り体験など)

主催：UMINARI 実行委員会



▲昨年の様子(写真上から、ステージイベント、フリーペイント)

表浜ほうべの森キャンプ場プレオープンイベントとして、昨年に引き続き2回目の開催となります。今年はキャンプ場を利用してもらいながら、自然とアートを融合した野外体験型のイベントを開催します。各種ブースでのワークショップやステージイベントなど、子どもから大人まで楽しめます。お誘い合わせの上ご来場ください。

また、現在作製中の石窯で焼いたピザをぜひ召し上がってみてください。

※昨年度の様子が田原市広報サポーターブログ「風の街のたはら」で紹介されています。☞ <http://kohotahara.dosugoi.net/>

お問い合わせ

UMINARI 実行委員会事務局 山本和宏 ☎090-7310-9356

市民活動紹介

たはら国際交流協会

～NPO 法人に生まれ変わります！～



▲つボイノリオ氏

地域における国際交流の広がりを図り、国際性豊かな人づくり、まちづくりに寄与するため1990年に設立されました。それから23年間、さまざまなボランティア活動が続けられています。外国人のための「にほんご教室」では、日本語を学びながら日本文化を体験したり、地域の行事に参加したりしています。また、語学教室の開催や通訳・翻訳のお手伝い、ホームステイの受け入れなどを行い、地域に住む外国出身の方々々と共生し、学び合い、理解を深めることを進めています。

今年の秋、「特定非営利活動法人(NPO法人)たはら国際交流協会」が誕生することとなりました。法人化に伴い、記念講演会を開催します。地元で活躍するラジオパーソナリティーのつボイノリオ氏に、地域に密着した国際交流への思いを語っていただきます。

たはら国際交流協会 法人化記念講演 ～「KOKUSAI 交流雑考」 講師：つボイノリオ氏～

日 時 ●10月19日(土) 14:00～16:00

場 所 ●田原文化会館 文化ホール

入場料 ●無料/全席自由(ただし入場整理番号付き入場券が必要)

入場券 ●9月22日(日)午前10時から、たはら国際交流協会事務局(田原文化会館1階)にて配布

お問い合わせ：たはら国際交流協会事務局 ☎22局2622 ✉info@tahara-tia.jp

田原市民活動支援センター

☞ <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎22局1111(内線812) ※開設時間のみ

☎23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

センター印刷機(2色)

試験運用中

期 間 ●平成26年1月17日(金)まで

対 象 ●市民活動団体(登録申し込みが必要)

使用料 ●試験運用中のみ無料(本運用後は有料)

※詳しくは市民活動支援センターにお問い合わせください。



スクールレポート

SCHOOL REPORT 62

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「お祭り広場」と「親子学級」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

福江小学校「お祭り広場」

「感謝」の気持ちを込めて

毎年、祖父母の皆さんを招待し「福小お祭り広場」を行っています。これは、祖父母の皆さんに感謝の気持ちを込めて、一緒に楽しんでもらうための行事です。子どもたちは、1学期に学習で学んだことを生かし、学習発表会をしたり自分たちで考えたゲームを祖父母の皆さんと一緒に楽しんだりします。

1年生は「はっけん！がっこうのひみつ」、3年生は「ウサギ！ふれあい広場」と題したお店を出し、自分たちが学校を探検して発見したことや、獣医さんから学んだウサギの秘密をクイズにして発表しました。

お祭り広場を終え、子どもたちからは「ぼくたちで考えたお店が、おじいさんたちを喜ばせることができたことがうれしかった」「おばあちゃんから『クイズの読み方がわかりやすかったよ』『やさしく案内してくれてありがとう』と言われてうれしかった」という感想が聞かれました。どのお店でも、祖父母と楽しむ子どもたちの姿が見られ、笑顔いっぱいの日になりました。

●自慢げに学校のひみつを発表する1年生



●子どもと一緒にウサギの鼓動を聞く参観者



●海岸に打ち上げられたごみを拾う親子清掃

野田小学校「親子学級」

“ふるさと野田”を愛する心を

5月24日(金)、仁崎海岸で親子学級を実施しました。全校児童、教職員、保護者など総勢約400名が参加し、海岸清掃と潮干狩りを行いました。これは、平成14年から地域の皆さんの協力により毎年行われ、親子学級として継承されている行事です。

当日は快晴。まぶしいほどに輝く海を背にして、親子でゴミを拾います。「こんなにあるよ」「みんなで拾うと一気にきれいになるね」そんな声が聞こえてきます。ゴミは大型コンテナ1杯、軽トラック2台分にもなりました。

きれいになった海岸を眺めながら、親子でお弁当タイム。そしていよいよお待ちかねの潮干狩りです。たくさんの笑顔があふれ、波打ち際からは歓声が聞こえてきます。アサリやヒトデを手にして子どもたちは大喜び。

親子の絆を深め、また地域の方とふれあう機会となりました。そして“ふるさとの海”“ふるさと野田”を愛する気持ちが育まれていることを実感しました。



●親子潮干狩り、たくさんのアサリが採れました



▲豊川上流では、川魚のつかみ取りなども体験しました
※交流センターについては、今月号の「交流通信」9ページをご覧ください



▲ステージでは、参加した団体の活動発表などが行われました
(主催: 田原市男女共同参画推進懇話会)



▲中川くん(写真左)のタイム(46秒97)は愛知県の高校記録
※10月の国民体育大会に愛知県代表選手として出場します

8月24日(土)
見えて触れて
水の大切さを実感

設楽町体験ツアーが行われ、市民31名が、姉妹都市設楽町を訪問しました。参加者は、設楽ダム建設予定地でダムの概要について学びました。また、豊邦交流センターでは、地元の方に五平餅作りを教わるなど、水源地の自然に触れながら交流を深めました。

8月25日(日)
男女が共に考え
共に歩む活動を！

第6回男女共同参画フェスティバルが田原文化会館で開催され、市内外から参加した28団体が、ステージ発表や展示などを行いました。また、温かな家族愛を描いた映画『幸福な食卓』が上映され、小松隆志監督によるトークショーも行われました。

8月15日(木)
たゆまない努力で
見事全国3位！

全国高等学校総合体育大会(7月30日「火」～8月3日「土」大分県大分市)に出場し、男子400Mで見事3位に輝いた中川滋貴くん(豊川高3年)が市長を表彰訪問しました。中川くんは「自己ベストの記録を出せたことがうれしい」と喜びを語りました。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●夏の時期に緑のカーテンを活用したエコライフの推進

田原市では、夏の省エネルギー対策の一環として、エアコンによる電気使用量の削減などにつながるゴーヤやアサガオなどでできた緑のカーテン設置を推進し、市民に対して、エコライフの普及・啓発を行っています。

今年も、市内の保育園および幼稚園（20園）、小学校（8校）、中学校（3校）、市民館（9施設）、その他施設（17施設）の計57の公共施設で実施しました。

近年は公共施設だけでなく、市内の住宅や事業所にも立派な緑のカーテンがみられるようになりました。



●堀切市民館 緑のカーテン



●東部保育園 緑のカーテン

一度緑のカーテンを設置すると、その効果を実感して翌年度以降もさらに工夫を凝らし、より効果的な緑のカーテンを設置する傾向があるようです。

また、各保育園や小中学校では、緑のカーテンの成長を記録するための観察会を行ったり、アサガオの花を使った色水遊びをしたり、育てたゴーヤの実を地域に配るなど、様々なイベントを開催し、楽しみながらエコライフについて学んでいます。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2,278人・事業所88カ所（8月末現在）

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー

16



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

田原市では、ごみ減量化の一環として平成21年度からレジ袋を有料化しています。今回は、レジ袋削減の成果などについてお知らせします。



◆平成24年度の成果

レジ袋購入辞退率87・5%

レジ袋削減枚数564万7349枚

◆レジ袋削減のメリット【平成24年度実績】

●ごみの減量化

ＬＬ判のレジ袋1枚は9・9g

【ごみ量5万5909kgの削減】

※1世帯から出るごみの48年分の量に相当します。

●石油資源の節約

レジ袋1枚の生産に必要な石油量は18・3ml

【石油約103kl（ドラム缶516本分に相当）の節約】

●地球温暖化の抑制

レジ袋1枚の製造および焼却によるCO2の排出量は約60g

【CO2約600tの削減】

◆レジ袋削減の協定締結店舗

イオン田原店、酒蔵トウカイ、ジツブドラッグ赤石店・田原赤石薬局
赤羽根店・渥美薬局、スギ薬局田原店、スーパーカネイチ、田原コープ(榎磯田園・フレッシュユミート、田原めつくんはうす、パワーズ田原店、フードオアシスあつみ田原店・福江店、ヤマナカ田原店
◆有料化によるレジ袋削減の趣旨をご理解いただき、参加を希望される事業者を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



レジ袋削減の取り組みは、皆さんの意識次第で実践できる身近なエコの一つです。使い捨てのライフスタイルを見直し、マイバックでの買い物始めてみてはいかがでしょうか。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

姉妹都市 設楽町 みつはし とよくに 三都橋・豊邦交流センター

山や川などの自然を満喫できる、2つの交流センターをご紹介します。

●交流センターってどんなところ？

豊川上下流域交流促進を目的に、廃校になった設楽町の小学校を田原市が借り上げている施設です。

●利用方法は？

- 対象 田原市民 ※営利目的での利用は不可
- 活用法 キャンプ、バーベキュー、スポーツなど
- 料金 無料(電気、水道などの使用料も無料)
無料レンタル品あり(ワンタッチテントなど)
- 申し込み 各交流センター会長へ電話にて(午後8時まで)

※利用日当日に、交流センターで申込書に記入

申し込み先	電話番号
三都橋交流センター 会長 原井 正さん	☎(0536)64局5264
豊邦交流センター 会長 山口邦夫さん	☎(0536)64局5439



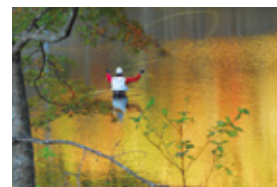
▲三都橋交流センター



▲豊邦交流センター

●周辺のおすすめスポットは？

三都橋交流センターから北へ約30分車を走らせたところに、「きららの森」があります。「きららの森」は、愛知県内最大級の規模を誇る、ブナの原生林。静けさの中に広がるブナ林の黄葉が鮮やかな黄金色に輝きます。また、「きららの森」に隣接する段戸湖では、ルアー・フライ釣りが楽しめます。



市内には、防災行政無線と言われるスピーカーの付いた無線設備が252箇所設置されています。今回は、毎日耳にする「無線放送」について紹介します。

◆**防災行政無線とは**
災害時の情報伝達手段として整備しており、無線を使って市内全域に放送を流すことができます。バッテリー搭載のため、停電時でも24時間程度放送できます。

◆**放送内容は**
緊急時としては、津波警報や火災発生時の放送などがあります。通常時としては、「こちらは広報たはらです」で始まる放送や、12時や17時の定時放送などがあります。

◆**なぜ12時と17時に音楽を流しているのか**
試験放送です。故障などの不具合を早期発見し、いざというときに流れないことが無いように、点検のために放送しています。

みんなで取り組む防災・減災

けんちゃん

無線放送

防災知恵袋

29

◆**放送が聞こえなくなったときは**
機器の故障などが考えられます。市役所防災対策課へ連絡しましょう。

◆**注意点**
●市が流している放送以外にも、地区によっては、独自で無線設備を設置して地区放送を流しているところもあります。

●設置場所によっては、どうしても放送が聞こえにくい地域もあります。無線放送の内容をメール配信するサービス(田原市安心安全ほっとメール)もありますので、市ホームページなどで確認しましょう。

9月から風水害避難所を指定しました。詳しくは、9月1日号または市ホームページをご覧ください。

▼防災対策課 ☎23局3548
http://www.city.tahara.aichi.jp/



募集

WANTED

田原福祉専門学校 学生

田原福祉専門学校では、平成26年度の推薦および一般・社会人入学試験を行います。



- ▼試験種別 ①推薦入学試験 ②一般・社会人入学試験 ▼試験日 ①10月26日(土) ②11月2日(土)
- ▼出願期間 ①10月1日(火)～17日(木) ②10月15日(火)～24日(木)
- ▼試験内容 推薦は面接、一般・社会人は作文と面接 ▼申し込み 田原福祉専門学校にある所定の出願書類に必要事項を記入し、入学検定料1万5000円を振り込みのうえ、出願期間内に提出(郵送の場合は当日消印有効) ▼その他 入学試験は、10月から平成26年3月まで計5回実施します。詳しくは直接お問い合わせください。

▼田原福祉専門学校
☎22局3939 FAX22局7340

安全で快適なカーライフのために マイカー点検教室 参加者



- ▼日時 10月25日(金) 午後1時～3時 ▼場所 道の駅田原めぐくんはうす ▼内容 定期点検についての講話や点検などの実習 ▼定員 200名(先着順) ▼参加料 無料 ▼申し込み 電話またはFAXにて(FAXの場合は地区名・氏名を明記) ▼その他 動きやすい服装でお越しください。参加者には、マイカーハンドブックや粗品などを差し上げます。
- ▼渥美自動車組合
☎22局0746 FAX22局4823

田原市嘱託員



- ▼募集人員 1名 ▼対象 医療事務の経験者または医療事務に関する資格がある方 ▼採用期間 11月1日(金)～平成26年3月31日(月) ▼勤務場所 田原市役所 ▼勤務内容 診療報酬明細書(レセプト)の内容点検および医療事務に付随する関連業務 ▼勤務形態 月々金曜日(祝日を除く)の午前8時30分～午後4時30分 ▼報酬 月額15万円 ▼選考方法 面接(詳細は後日通知) ▼申し込み 10月10日(木)までに保険年金課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出/郵送の場合は締切日必着 ▼保険年金課 (〒441-3492 住所不要) ☎23局2149 FAX23局4270

ひきこもり家族教室参加者

ひきこもりの理解を深め、対応法を学ぶために家族教室を開催します。

▼対象 ①ひきこもりの家族、不登校児童の家族など(ひきこもりの方の住所が豊川市、蒲郡市、田原市の家族) ▼日時/講座名/内容 表のとおり ▼場所 豊川市社会福祉会館 ▼定員 30名 ▼申し込み 電話かFAXで豊川保健所健康支援課こころの健康推進グループへご連絡ください。

	日時	内容
第1回	10/17(土) 13:30～15:30	講話 「不登校・ひきこもりの理解と対応」 ～改めて知っておきたいこと～ 講師 愛知教育大学 大学院教育実践研究科 准教授 川北絵氏
第2回	10/31(土) 13:30～15:30	講話 「ひきこもりの支援」～具体的な事例を通して～ 講師 がまごおり若者サポートステーション センター長 鈴木法政氏
第3回	11/14(土) 13:30～15:30	講話 グループワーク「肯定的な考え方や表現の仕方について知ろう」 講師 がまごおり若者サポートステーション センター長 鈴木法政氏 鈴木照江氏

- ▼豊川保健所健康支援課
☎(0533)83局3626
FAX(0533)89局6758



生活

第6回危険物取扱者試験

▼試験日 11月24日(日) ▼場所
 〓名古屋市内 ▼種類 〓乙種全類・
 丙種 ▼対象 〓一般 ▼申し込み 〓
 ①10月15日(火) 〓23日(水)の期
 間に市役所消防課または消防署・各
 分署にある受験願書に必要事項を記
 入のうえ郵送 ②10月12日(土)午
 前9時 〓10月20日(日)午後5時の期
 間に一般財団法人消防試験研究セン
 ターホームページにて電子申請
 ▼その他 〓テキストおよび事前講習
 会については、お問い合わせくださ
 い。

HP <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

▼消防課
 ☎23局4074 FAX23局0180

秋の安全なまちづくり県民運動 10月11日(金) 〓20日(日)

この運動は、地域の皆さんと防犯
 協会や警察が協力し、身の回りに危
 険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を

行うものです。10月11日(金)は、
 防犯に対する意識と理解を深める
 「安心・安全なまちづくりの日」と
 制定されています。地域ぐるみの防
 犯活動で、安心して暮らせるまちづ
 くりをめざしましょう。

運動の重点

- ・短時間の外出でも、家に必ず鍵を
 かけましょう
- ・なるべく人通りが多く明るい道を
 通りましょう
- ・振り込め詐欺に注意しましょう
- ・暴力追放「三ない運動」を推進し
 ましょう(暴力団を利用しない・
 恐れない・お金を出さない)

▼市民協働課 ☎23局3504

認知症等普及啓発 地域シンポジウム

▼日時 10月19日(土) 午後1時30
 分 〓3時50分 ▼場所 〓豊川市文化
 会館 ▼内容 ①基調講演「認知症
 を理解しよう」【講師】長寿医療研
 究センターもの忘れセンター 神経内
 科部長 鷲見幸彦氏 ②シンポジウム
 ▼対象 〓どなたでも可 ▼定員 〓
 430名(先着順) ▼参加料 〓無料
 ▼申し込み 〓電話にて。
 ▼豊川保健所総務企画課
 ☎(0533)86局3188

秋の行政相談週間 10月21日(月) 〓27日(日)

「行政相談」とは、国などの仕事
 について、皆さんから苦情や意見・
 要望などを伺い、その解決を図る制
 度です。市では、「行政相談所の開設」
 「心配ごと相談」を同時に実施しま
 す。年金・保険・税金・登記・環境
 衛生・消費者保護・交通安全・道路・
 窓口サービスなどについて、苦情や
 意見・要望がありましたら、お気軽
 にご相談ください。相談は無料で、
 秘密は厳守します。



心配ごと相談

▼開催日/場所 ①10月2日(水)
 / 田原福祉センター ②10月9日
 (水) / 赤羽根福祉センター ③10
 月15日(火) / あつみライフランド
 ▼時間 〓いずれも午後1時 〓4時
 ※このほかの日程でも、行政相談委

員などによる心配ごと相談を行っ
 ています。日程は、田原市社会福
 祉協議会ホームページまたは社協
 だよりをご覧ください。

行政相談委員

- ・松井克志さん(神戸町)
- ・本田則子さん(高松町)
- ・宮本孝子さん(福江町)

▼総務課

☎23局3506 FAX23局0180

▼田原市社会福祉協議会

☎23局0610 FAX23局3970

HP <http://tahara-shakyo.or.jp/>

sinpai/soudan.htm

寄付

ふるさと寄附金

次の方からご寄附をいただきまし
 た。ご厚意に感謝します。
 ▼8月26日、匿名希望の方から、金
 300万円。



歴史探訪

クラブ! 其の150

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

なつかしの横断歩道橋

あるテレビ番組を見てみると、失われる日本の風景を特集していました。そのひとつに歩道橋がありました。その番組では司会者と解説者が、歩道橋へのそれぞれの思い出を懐かしく語っていました。

市内で現在、歩道橋が設置されているのは、豊島町（豊島横断歩道橋／1970年建設）、六連小学校前（むつび歩道橋／1993年建設）、田原中学校前（はこう歩道橋／1974年建設）、田原南部小学校前（大久保



▲豊島横断歩道橋とプレート（子どもたちに親しまれるように、ひらがな書き）

歩道橋／1968年建設）、野田小学校前2カ所（野田歩道橋／1968年建設、ほとと歩道橋／1996年建設）、福江町高田（福江歩道橋／1973年建設）の交差点です。

豊島町の歩道橋は、旧国道、線路を跨いでいますので、階段や橋の高さが複雑になっています。また、六連小学校前の歩道橋は片方からせん階段です。田原中学校前の歩道橋は、幾度も改修が加えられスロープとつながっています。福江町高田の歩道橋は交差点にかかる市内で最も大きなものです。

また、同様の施設である地下横断歩道も市内には、清田小学校の通路、衣笠小学校の通路（どんどん地下道）があります。かつては田原市街地のまつり会館前にもありましたが、取り壊されて今

はありません。いずれも学校の近くで交通量の多い道路に設置しており、事故に遭いやすい子どもを意識していることがわかります。

昭和30年代終わりから、自動車普及しました。「自家用車で休日に家族でドライブ」という家庭が増え始め、交通事故も増加してきました。現在のように、車道と歩道がしっかり分離されておらず、また、車と人間がお互い交通ルールに慣れていない時代でしたので、事故を防ぐ直接的な方法として考えられたのでしょう。全国的に作られたのは昭和40年代でした。

通学路の変更や新たな横断歩道の設置などにより安全が確保された場合や老朽化が進んだものが、全国的に、徐々に取り壊されています。

歩道橋の思い出は、通学途中の格好の雨宿りの場でもあり、そこを基点として帰り道の違う友だちとの別



▲清田小前の地下横断歩道

れを惜しむ場でした。何より高い建物が少ない時代、周囲を見渡し四季の移り変わりを空気とともに感じる場でもありました。味気ないクリーム色の歩道橋ですが、交通事故から守るための安全施設だけでなく、積み重ねた時間と地域に溶け込んだ風景となつていくのです。

前出のテレビ番組の解説者も、取り壊されていく歩道橋の様子にやるせなさを吐露していました。しかし、横断歩道橋は歩行者の安全を守るべきもの。この歩道橋を見るたび、私たちは交通安全の決意を新たにしなければなりません。その象徴として、これからも大事にしていきたいものです。（増山）

今月の「表紙」

▼東三河地域は、この夏、降水量が極端に少ないため、皆さんに節水対策を呼びかける毎日が続いています。これから台風シーズンを迎えることで、恵みの雨は欲しいですが、災害が起きないことも願わずにはいられません。今回、伊良湖校区が実施した防災対策を参考に「今、何ができるのか」などを、あらためて家族や地域で考えてみましょう。（I）

【表紙の写真】伊良湖小学校